

# 岐阜農林事務所の普及活動状況

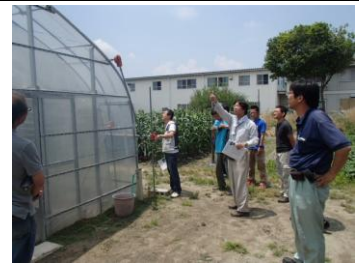
平成25年6月21日現在

## 今月の重点活動

### ■新規栽培者養成のための専門塾開催

#### アスパラ塾

6月7日羽島市において新規導入者と既栽培者が（計8名）参加する第2回アスパラ塾を開催した。活発な質問が多数出された室内講義ではハウス栽培の育苗から定植までについて講義した。現地では収穫中のハウスを見学させた。今後も定期的にあスパラ塾を開催して、踏み込んだ栽培技術の講習会となるよう進めてゆく。



【ハウス見学の塾生】

#### なす塾

5月20日と6月13日に本巣市なす振興会において「なす塾」を開催した。新規会員となった昨年の塾生2名を含む振興会会員に新規の塾生2名（計4名）が加わった。第2回では実際に支柱を立て、番線・誘引ひもの張り方、摘葉などの栽培管理技術を学んだ。次回は振興会の目揃会との同時開催で実施し、選果・選別、箱詰め方法等を指導する。



【研修会の様子】

#### えだまめ塾

5月30日岐阜市において、えだまめ栽培希望者9名が出席する第3回えだまめ塾を開催した。今回までにえだまめ栽培の基礎を学習してきたが、今後は、現地での実習を行う。そして即戦力としてえだまめ栽培が行える人材育成の場として回を進めてゆく。



【えだまめ塾生】

## 売れる農畜産物づくり

### ■えだまめ

#### うどんこ病対策の実施

高温、干ばつの影響から、一部品種において、通常では見られないうどんこ病が発生した。早期段階で各生産者へ速報を配付し、防除情報の提供や対策指導を行った。現在のところ最小限の影響に留まっている。



【うどんこ病】

### ■柿

#### 柿の生育状況

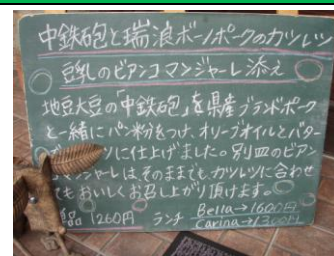
6月早々の降雨や中旬の日照不足で「早秋」や「富有」を中心に生理落果が発生しており、摘果作業は生理落果が落ち着く梅雨明け後に実施するよう指導している。今後はカイガラムシと落葉病の防除適期でとることから、散布ムラの無い丁寧な防除をするよう順次指導している。

## 戦略的な流通・販売

### ■ 地産地消

#### 地産地消研修会

6月6日農業普及課の地産地消担当が美濃加茂地区の先進的な直売所3箇所を視察調査した。どの直売所もそれぞれの立地条件に合わせた特色のある経営が行われていた。また、可児市の地元農産物とイタリア料理店とのコラボレーションについても調査し、JAめぐみの、可茂農林事務所の担当者から取り組み内容について説明を受けた。



【レストランメニュー】

## 多様な担い手の育成・確保

### ■ いちご

#### 新人農家が就農開始

いちご研修所で研修を受けてきた4名が、5月31日で研修を終え、岐阜市に1名、本巣市に3名就農を開始した。各関係機関との連携下で育苗指導・経営指導についてサポートを行っている。

### ■ 新規就農

#### 就農相談

当課には電話や直接来課するなど年間30件ほどの就農に関する相談がある。

現在は去年から継続的に相談に応じている新規就農希望者に品目担当と資金担当の2名が対応している。相談者が作成した就農計画について検討しているが、経営を早期に安定させるため、極力施設への初期投資を減らすことや自己資金をもっと増やすことなどをアドバイスし、来年度には就農できるような就農計画を作成するよう指導している。



【就農計画検討】

## 県民みんなで育む農業・農村

### ■ 食農教育活動支援

#### 稲作体験教室・まくわうり定植指導

5月22日各務原市でJA主催の稲作体験教室が、6月に入り、羽島市（桑原小6/6、中島小6/7、福寿小6/12）、山県市（高富小6/11）、本巣市（真桑小6/11）の各学校主催の田植体験学習が実施され、室内で稲作やアイガモ稲作の特長説明等、現場では田植指導を生産者や関係職員と共に行った。今後は収穫体験、籾すり精米体験等を支援する。

また、真正小では3年生によるまくわうりの定植が行われた（5/28）。定植前後でまくわうりの来歴や栽培方法などを研究会会員と農林事務所が講師となり学習支援を行った。



【説明する研究会員】

### ■ 柿

#### 柿産地の将来を話し合い

6月7日本巣市にて農産園芸課・農業経営課・岐阜農林事務所・JA・生産者との間で柿産地維持に関する意見交換を行った。後継者確保のためそれぞれの立場でできることを出し合い、今後も検討を続けることとした。